

令和元年度「文化庁日本語教育大会・京都大会」

第1日目 10月12日(土)	
時間	内 容
13:00 ～ 13:10	開催挨拶（文化庁）
13:10 ～ 14:15	日本語教育に関連する外国人施策等について(関係省庁)
14:15 ～ 14:35	文化審議会国語分科会日本語教育小委員会の審議状況の説明
14:35 ～ 14:50	休憩
14:50 ～ 15:20	空白地域における日本語教室設置とコーディネーターの役割 ～徳島県における日本語教室空白地域解消推進の取組から～ 報告：野水 祥子（公益財団法人徳島県国際交流協会） 西岡 進（つるぎ町教育委員会） 西原 鈴子（特定非営利活動法人日本語教育研究所）
15:20 ～ 17:00	パネルディスカッション 最近よく聞くCEFRって、何のこと？ ～日本語教育における活用を考える～ 現在、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会では、「論点3 日本語教育の標準」についての議論を行っています。国内の日本語教育の各分野では既に「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）」を参考に、スタンダードや参照枠を作成したり、CEFRの理念を参考とした教育実践が行われたりしていますが、一般的にはまだ十分に理解されているとは言えないのではないのでしょうか。そこで、本パネルディスカッションではEFRや日本語能力に対する理解を深めていただけるよう、各分野の事例を紹介するとともに、今後の検討に向けた意見交換を行います。 進行：松岡 洋子（岩手大学） 報告：西山 教行（京都大学） 築島 史恵（独立行政法人国際交流基金日本語国際センター） 伊東 祐郎（国際教養大学）
17:00	閉会

第2日目 10月13日(日)	
時間	内容
10:00 ～ 12:00	①「日本語教育人材のキャリアパス～現場で活躍する先輩に直接聞いてみよう！」 ※前日のプログラム終了後、会場で申込みを受付 ②文化庁日本語教育事業 パネル展（日本語教育人材養成・研修カリキュラム開発等事業、地域日本語教育実践プログラム、地域日本語教育スタートアッププログラム）
12:00 ～ 13:30	文化庁日本語教育事業 説明会（12:00～13:00） 「IT・通信による日本語教育～ちょっとのぞいて触ってみよう！～」（12:00～13:30）
13:30 ～ 15:30	日本語教育テーマ別実践報告会 ※要事前申込み 【第1分科会】日本語教師・初任【就労】に対する日本語教育の専門性とは ～その資質・能力、教育内容から考える～ 進行：古川 智樹（関西大学） 報告：大石 寧子（一般財団法人日本国際協力センター（JICE）） 長崎 清美（特定非営利活動法人日本語教育研究所） 新山 忠和（一般社団法人応用日本語教育協会、 学校法人吉岡教育学園千駄ヶ谷日本語学校） 【第2分科会】「やさしい日本語」で発信！ ～全国各地に広がる「やさしい日本語」の取組から考える、 日本語教育人材にできること～ 進行：土井 佳彦（特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海） 報告：水野 義道（京都工芸繊維大学） 栗又 由利子（株式会社きぼう国際外語学院） 岩田 一成（聖心女子大学） 【第3分科会】地域日本語教育が持つべき関連分野の視座 ～多文化共生・ソーシャルワーク・通訳の各分野が期待すること～ 進行：菊池哲佳 （多文化社会専門機構認定多文化社会コーディネーター、公益財団法人仙台観光国際協会） 報告：麻田 友子（NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会、京丹後市国際交流協会） 門 美由紀（元公益社団法人埼玉県社会福祉士会 多文化共生ソーシャルワーク委員会 委員長） 岩田 久美（特定非営利活動法人国際活動市民中心（CINGA））
15:30 ～ 15:45	休憩・移動
15:45 ～ 16:30	テーマ別実践報告会報告・総括
16:30	閉会